

キャラクター名
鳥おじさん

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	FHセルリーダーD	カヴァー	
	ウロボロス					
オプション		年齢	不明	性別	男	
覚醒	無知	衝動	解放	初期侵食率	40	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2		0			2	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	4		0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：要人への貸し	
コネ：調達師	
コネ：専門家	
コネ：専門家	
コネ：専門家	
応急手当キット	
フォーマル	
携帯電話	
カジュアル	
亡霊の御印(HR.97)	
デモンズシード	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
起源種	P	N		
仲間たち	P 好意	N 不安		
虚無頭	P 尽力	N 脅威		
ラットマン	P 傾倒	N 悔悟		
ハンス	P 誠意	N 不安		
"Party"	P 連帯感	N 隔意		
"ペイルライダー"	P 懐旧	N 脅威		

最大財産P: 8 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
原初の黄：先陣の火	1	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	侵蝕基本値+3。ラウンド間、【行動値】+[LV×5]。シーン1回。							
原初の赤：強化の雷光	8	2+1	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	シーン間、対象のメジャーのダイス+LV個、戦闘移動距離+5m。							
原初の赤：砂の鎧	8	2+2	メジャー	視界	-	自動	-	
効果:	シーン間、対象の装甲値+[LV×2]。							
混色の氾濫	1	2	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果:	「原初の●：」と共に使用。対象を範囲(選択)にする。シナリオLV回。							
果てなき円環	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	侵蝕基本値+3。「原初の赤：」を選択。選択したものは重複して取得できる。侵蝕率でLVUPしない。							
変貌の果て	★							
効果:	異能に目覚める前後で大きく容姿を変えた。							
イーザーフェイカー：裸の王様	★							
効果:	[LV×10]のエキストラ。侵蝕基本値+1。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称は「私」。
その姿は異形であり、鳥と人間を足したような大分いかつい見ためをしており、仲間にも異形の者は少なくない。しかし見た目に反し、性格はおおらかなであり、誰にもわけ隔てなく接する。ある時この街にふらりと現れ、行き場のないものたちの生活の工面を行う中で仲間を増やし現在に至った。また能力開発に熱心であり、様々な発明している。一例としては人員不足の工面のために開発された、意思と頭を持たぬ人型「虚無頭(こむとう)」を創り出す技術など。上記のような役に立つものもあれば、意味のわからないものもしばしば。ベルトコンベアーとベッドを融合させた謎の代物は、朝になると床に落ちるので絶対起きれると仲間にも味を博している。このように遊び心と寛大な心持を持っている。逆に人に甘い部分もあるといえ、今回の事件はラットマンに対して甘い処罰を行った結果であると考え責任を感じている。

もう何年かもわからない以前、元々は人間だった彼は異能に目覚めると共に半鳥半人の怪物となった。それは到底常人に受け入れられる容姿ではなかった。しかし人々においやられ、各地を転々とする中で一人の女に助けられ、やがて恋仲となる。そうして彼女との間に設けた子供は他の赤子と変わらぬ姿だった。自分の子を抱き、容姿は違えど自分もまた人間なのだ感涙した彼は、自らの進む道を決めた。子供は巣立ち、伴侶は既に天寿を全うしている。